

# 木耐協 マンスリーレポート

2016.6  
vol.  
210



① 工事前の時の鐘(高さ約16m) ② 既存柱の金輪継ぎ加工  
③ 新しい主柱(1.35尺/スギ)の加工  
④ ホゾ穴加工 ⑤ 根継ぎ部分には補修年を刻印 ⑥ 込み栓は掛矢で打つ  
⑦ 現在は全体が素屋根とシートで覆われ、今後の補強・補修等の準備が進められる

写真提供：川木建設株式会社[<http://www.kawamoku.com/>]

## 特集

平成28年熊本地震、発生

震度7の揺れを

2回観測!

P02

## 今号の表紙

約400年前に建てられた埼玉県川越のシンボル「時の鐘」。現在の姿は122年前の1894(明治27)年に再建されたもの。組合員の川木建設様が耐震補強と保存修理を担当されています。平成27年6月～平成29年1月にかけて、耐圧盤設置・接合部補強、主柱根継ぎ・屋根銅板葺き交換等の工事を実施。今回の表紙では、主柱根継ぎの様子をご覧ください。

※工事の詳細は川越市HPでご覧いただけます  
「時の鐘 耐震化」で検索

## CONTENTS

見逃せないお役立ちデータをご紹介します!  
「平成27年度 リフォーム実例調査報告書」--- P04  
安斎先生の技術通信 --- P05  
技術向上委員会発!耐震実務のポイント解説--- P06  
社員100人までの会社の「社長の仕事」--- P07  
資格の花道 --- P08  
News & Topics --- P08  
賛助会員さんイチ押しサービスを深堀!! --- P09  
イベント広場 --- P10  
理事長のオススメの一冊 --- P11  
事務局通信 --- P11  
組合員さんこんにちは! --- P12



# 平成28年 熊本地震発生

この度の熊本地震において被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧が果たされ、被災された皆様が平穏な日々を取り戻せるようお願い申し上げます。

## 震度7の揺れを2回観測！

2016年4月14日(木)21時26分、熊本県熊本地方を震源とする地震が発生。益城町で震度7の揺れが観測され、広い範囲が震度5弱以上の揺れに見舞われました。当初は本震だと思われていたこの地震が実は「前震」であり、その28時間後の4月16日(土)1時25分に再び熊本地方を震源とする大地震が発生し、益城町・西原町で震度7の揺れが観測されました。その後の余震も多く、震度5弱以上の地震だけでも16回を数え、残念ながら住宅の

倒壊による人的被害が発生しています。この一連の地震は日奈久断層帯や布田川断層帯が動く事で発生したと考えられ、国土地理院によると最大変位量は2・2mと発表されています。また、電気ガス水道等のライフラインの被害に加え、空港・道路・電車(新幹線)在来線も甚大な被害を受けました。今回の特集では、発生から1か月を迎えた「平成28年熊本地震」について、被害状況等を数字と写真で確認します。

### 《地震の概要》

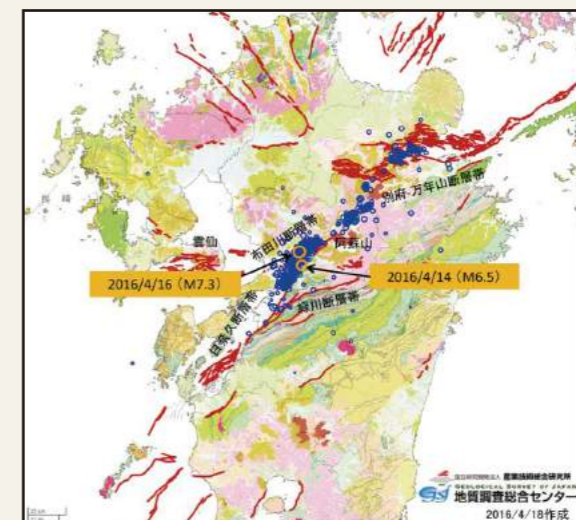
前震	
日時	2016年4月14日(木)21:26
震源地	熊本県熊本地方、深さ約11km
規模	マグニチュード6.5
最大震度	震度7 / 熊本県益城町
本震	
日時	2016年4月16日(土)1:25
震源地	熊本県熊本地方、深さ約12km
規模	マグニチュード7.3
最大震度	震度7 / 熊本県益城町、西原村

### 《発生した地震の震度と回数》

震度	7	6強	6弱	5強	5弱	4
4月14日	1		1		1	9
15日		1			1	10
16日	1	1	2	1	4	36
17日						11
18日				1		4
19日				1	1	2
20~28日						8
29日				1		
30~5月13日						8

※5月13日現在、震度1以上を観測する地震が1411回

### 《地質と断層と震源》



### 《被害状況》

	人的被害			住宅被害			非住宅被害		火災
	死亡	重症	軽傷	全壊	半壊	一部破損	公共建物	その他	
熊本県	68	348	1,258	2,847	5,324	32,408	247	515	16
大分県		4	22	1	6	1064		1	
福岡県		1	17		1	230		1	
佐賀県		4	9						
宮崎県		3	5		2	20			
長崎県							1		
山口県							3		

※2016年5月16日(月)11:00現在 / 消防庁発表



写真提供:株式会社住環境工房らしんばん

### 徐々に明らかになる 住宅被害

上の写真にもありますが、築年数の古い建物を中心に重大な住宅被害が発生しています。台風被害が多い九州エリアのため瓦屋根の建物が多く、そのような住宅で倒壊や激しい損傷が見られる事も特徴です。

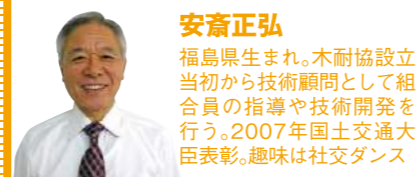
また今回は震度7の地震が2回発生した事も影響し、新耐震基準(昭和56年〜平成12年)の建物や現行基準(平成12年)の建物にも被害が生じており、研究者や報道機関も注目しています。

被災した住宅の応急危険度判定について、既に5万棟以上の判定を終えたものの未だ調査が続いており、倒壊の恐れがあり「危険」と判定された建物は、阪神淡路大震災の6476棟を超えたと発表されました。

### 今こそ「耐震化推進」を！

巨大地震はいつどこで発生してもおかしくない状況にあり、そのことは誰もが心のどこかで理解しているはずですが、しかし一方で、残念な事実として「地震に関する報道が少なくなると耐震への意識が低下」してしまっています。

今こそ私たち日本木造住宅耐震補強事業者協同組合は、地震から国民のいのちを守るために、耐震診断・補強を推進しなければなりません。いざという時に大切なお客様が後悔しないよう、耐震の提案を進めてまいります。



**安齋正弘**  
福島県生まれ。木耐協設立当初から技術顧問として組合員の指導や技術開発を行う。2007年国土交通大臣表彰。趣味は社交ダンス

**Q98** 耐震診断時に既に補修された項目があった場合、劣化部分に含める必要がありますか?

**考察** 原則は劣化部分に含めませんが、補修のグレードなどにより、適切にご判断下さい。

要するに補修により、「劣化改善の効果が認められるか、どうか。」ということでの、適切に判断…ということなのでしょうね。ただし、劣化低減係数は【建物全体に影響】するので劣化の判断は慎重に行う必要があります。

**Q99** 筋かいなど釘打ちによる接合でも耐力を認めています。[さび]により劣化した場合は、どのように考えれば宜しいでしょうか?

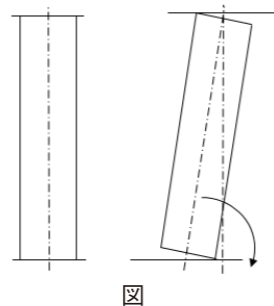
**考察** 「さび」の程度などにより適宜壁基準耐力等を低減するなど、適切に判断してください。

この件については皆さんも結構悩ましい問題ではないでしょうか。筋かいの場合は(特に旧耐震時代のもの)接合金物の不十分さから「引張りも圧縮」に期待していたのも事実でしょうから、そんなに低減を考える必要がないようにも思いますが、大地震時に「引張られて外れてしまったら、圧縮時に効いてくれない!」心配があります。正直小生にも「適切な判断」はむずかしい!全体を見て、臨機応変…でしょうかネ。

**Q100** (P54) 上部構造評点の判定において「倒壊」とは、建物がどのような状態をいうのでしょうか?

**考察** 建物の変形角が安全限界変形角(通常の構法では1/30)を超える状態を示します。

多くの構造種別や木造の場合、壁系も軸系も1/30とされているようです。木造で1/30というと、3mの高さで100ミリの変位。柱頭の柱心が柱脚の柱面から飛び出しています(図)。自力では戻れません。つまり靱性(ネバリ)がないと自重で自滅(自壊)するということです。またこの安全限界変形角というのは地震だけでなく暴風時の検討でも同じ扱いです。



◎今号のテーマ  
一般診断法  
「劣化・腐朽、  
評点」  
についての考察

「2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法」の質問・回答集の確認  
熊本・阿蘇周辺をメインに発生し継続する余震に、国中は元より国外でもその推移に固唾を飲んで居る。収束の確認も出来ないまま本原稿の脱稿を迎えているが、被災・避難生活を強いられる方々への言葉もない。ただ、国外を含む沢山の皆様の支援には、日本国民であることに誇りさえ感じるのには私だけではないと思います。一日も早い収束と立ち直る意気を願うばかりです。

りです。(昨日まで在った家が今日は倒壊、という「余震の怖さ」をしっかりと肝に銘じて日々の活動に活かして欲しい)。  
さあ、今月もこの回答集をめぐり、内容趣旨を確認し日々の実務に活かしてまいります。日本建築防災協会に掲載されている文章は、下記ホームページアドレスから直接ご覧ください。  
(注:紙面の都合上HPに掲載されている文章から、趣旨を外さない程度に表現を変えています)。

<http://www.kenchiku-bosai.or.jp/seismic/kodate/wquest.html>



見逃さない  
お役立ちデータ  
をご紹介します!

第1回

平成27年度リフォーム実例調査報告書  
リフォーム平均金額  
前年比約2割ダウン

本コーナーでは、様々な団体が発表しているデータから選りすぐりの情報をお届けします。  
今回は、住宅リフォーム推進協議会が集計・発表している「平成27年度リフォーム実例調査報告書」をご紹介します。本調査は毎年秋口に木耐協組合員様にもご協力いただいております。

調査対象

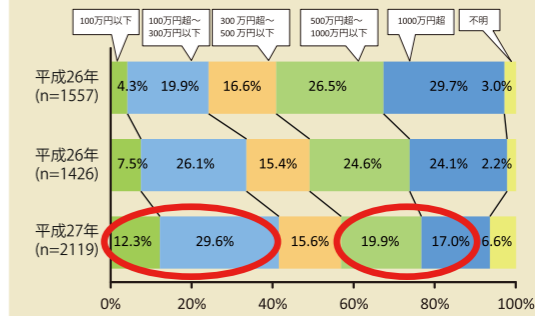
約500社のリフォーム事業者が手がけた補修・修繕などを含まない大規模な複合型リフォーム2,000件が対象。消費増税後の14年9月から15年8月に完了した物件について、事業者が施主に代わってアンケートに回答。

トピックス 1 リフォーム工事の平均金額は626.2万円 前年比130万円もダウン

リフォーム契約金額の年度別平均額



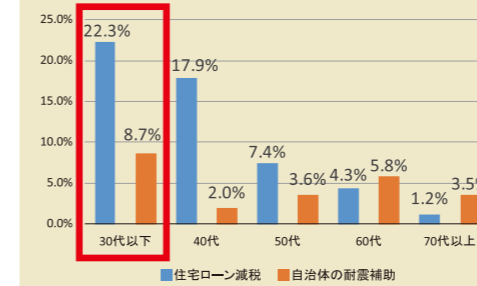
リフォーム契約金額(時系列比較)



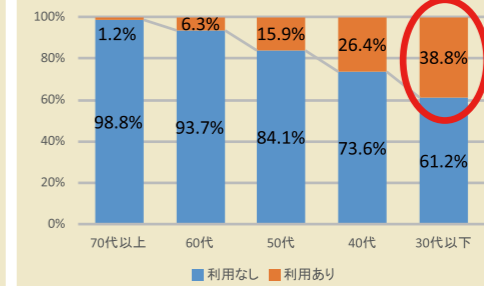
- ▶前年度と比べて500万円超の割合が減少し、300万円以下の割合が増加
- ▶回答時期が増税後の9月からの1年だったため、消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動か

トピックス 2 30代以下の10人に4人がリフォームローンを利用 住宅ローン減税・自治体の補助金も積極的に利用!

住宅ローン減税・自治体の耐震補助制度利用率(年代別)



一戸建てのリフォームでリフォームローンを利用した施主の年代別割合



- ▶30代以下でリフォームする人の3割が「500万円以上」の借り入れ
- ▶耐震の補助金を利用するのは30代以下と60代が多い

30代以下の世帯にリフォームローンや住宅ローン減税をしっかりと提案することで、大型リフォームの受注にもつながるのではないのでしょうか。今回取り上げた項目以外にも「リフォームを行う住宅の7割は築21年以上」「築30年をこえる」と24.7%の住宅が耐震補強工事を実施している」など、今後の事業展開に役立つ統計がまとまっています。  
住宅リフォーム推進協議会のホームページでは全73ページのPDFで公開されていますので、是非ご覧ください。  
なお、木耐協ではリフォームローン会社2社と提携しておりますので、ぜひご利用ください。

▶(一社)住宅リフォーム推進協議会 <http://www.j-reform.com/>

次号は「小屋梁解法による補強の流れ」を解説します。ご期待ください!

**Question ?** **技術向上委員会発！耐震実務のポイント解説**  
 組合員の方々から木耐協事務局に寄せられる様々な相談・質問。このコーナーでは、事例を挙げながら、技術向上委員会が解説を行ないます。

**今号のテーマ** 『柱の除却に対応した軽量溝形鋼による梁の補強方法』その1

木耐協には日々技術的なご質問も多くいただいております。その中で多いのが「間取り変更等を含むリフォーム工事を受注する場合、どのように構造上補強すればよいか?」というご相談です。柱を安易に抜いてしまって、果たして構造的に大丈夫でしょうか。今号より4回の連載で、「作図」を行いスパン表に当てはめることで設計可能な「柱を除却した梁の下端に、軽量溝形鋼で支持」する解法をご紹介します。

2月発行版」の考え方を参考に軽量溝形鋼のスパン表としました。今回は解法の流れと二通りある解法の判断基準についてご説明します。

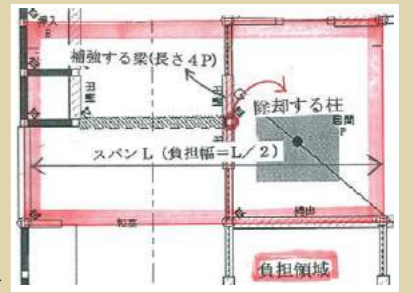


柱を抜く前 柱を抜き、梁を補強した後

この解法は、日本住宅・木材技術センターの「木造軸組工法住宅の横架材及び基礎のスパン表[平成24年

**解法の流れ**

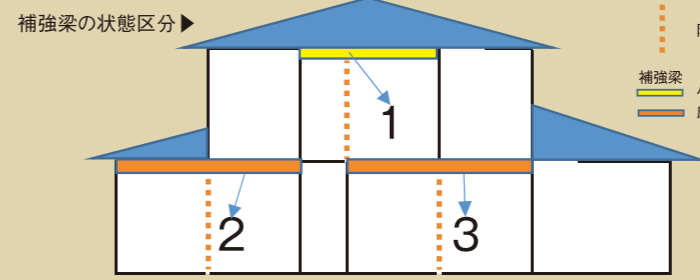
抜く柱が受けていた梁を補強するため、梁の下に新たな軽量溝形鋼を取りつけます。この解法は、柱除却に見合った直接加重を算出し、補強用軽量溝形鋼を選定します。算定表、スパン表は次号以降に詳細をお伝えします。



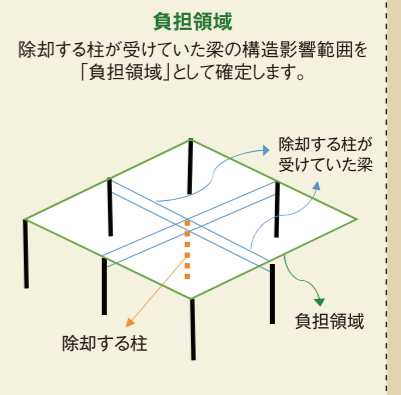
1. 作図(右記例を参照)
2. 算定表に当てはめ、直接加重Wfを算出
3. 主スパン表から梁の長さど加重を読み取ります

**二通りの解法**

**補強する梁の状況(負担領域)により、解法が異なります**



1. 負担領域の全ての部分が、小屋の場合 → 小屋梁解法
2. 負担領域の一部分が下屋で、一部分が床の場合 → 床梁解法
3. 負担領域の全ての部分が、床の場合 → 床梁解法



# 社長の仕事

## No.04

社員100人までの会社の

古田土会計は「日本中の中小企業を元気にする」をモットーに、古田土式・月次決算書と、経営計画書で全国約2000社の企業を支援しています。中小企業こそ、社員と家族を幸せにできる!この連載が、社員・社長・企業の皆様の幸せに繋がれば幸いです。

まずは「社長がなすべきことをなす」これが絶対条件

社長が社員に対して「必死で働け」と檄を飛ばしておきながら、社長自身がゴルフ三昧では社員はついてきません。

次に、社長は「社員の幸せを最優先する」ことが大切

顧客第一主義は経営の要諦ですが、それは仕事の最前線にいる社員が守るべき行動原理。社長は社員第一主義でなくてはなりません。こうした考え方を頭で理解するだけでなく、具体的に実践するために必要な経営ツールが、今後の本「経営計画書」です。思い付きや気分です。思い付きや気分ではなく、きちんとした方針とルールに従って

「月次決算書」と「経営計画書」、そして「社員の一体感」。この3つが回れば、会社は確実に大きくなる

翌期の売上・利益目標、先を見据えた経営計画は重要ですが、計画だけでは成長できません。やりきるには「社員一丸の体制をどう構築するか」がキモです。



**プロフィール**  
**古田土 満** こだとみつる  
 1952年生まれ。公認会計士・税理士。  
 税理士法人古田土会計代表社員。開業以来33年連続増収で赤字はゼロ。営業なしのロコミだけで年間100件以上の新規開拓を続けている。

て社内をまとめ、すべての社員のベクトル合わせをすることが社長の使命だといっても過言ではありません。中小企業では、そうした全社一丸の体制が整って、はじめて売上予算・利益予算の達成があるのだということ、社長は肝に銘じてください。

中小企業が成長し続けるために「経営計画書」はもちろん大切なツールですが、そこに描かれる未来像を数字で表すための道具が「未来会計図表」や「資金別貸借対照表」です。これらの内容や使い方について興味のある方はぜひお問合せ下さい。

社長が戦略を考え、社員が戦術を練り、全社一丸で実行。社長と全社員が、自分のなすべきことをきちんと理解し、そして愚直にその遂行に邁進すれば、会社は必ず成長していくのです。

# メーカー賛助会員さん イチ押しサービスを深掘り

メーカー賛助会員として、組合活動に日頃ご協力をいただいている企業様から、イチ押しのサービスをご紹介します。

今月は…

## エイム株式会社様

創業は平成8年2月。住宅を安全・快適にする商品を開発・販売しています。累計集荷数43,000棟の“元祖”内壁補強キット「かべつよしシリーズ」、後付けホールダウン金物「かぞくまもる」など、木造住宅の耐震補強部材や、耐震診断ソフト「木耐博士N」を販売しています。



担当者よりひと言

技術部  
駒井隆広様

日本建築防災協会の認定を取得していますので自治体の補助金にもご利用いただけます。また、耐震補強工事の現場のお悩みだけでなく、耐震全般についてご相談ください。製品だけでなくフォローアップも弊社の“強み”です。

### 耐震内壁補強の決定版! 『かべつよし』



**Q** イチ押し商品の**特長**は?

通常の耐震補強に必要な天井・床の解体が不要なため工期が短縮でき、お施主様にも喜ばれます。平成12年4月から販売しているロングセラー商品です。

**Q** どんな**シーン**にオススメ?

2種類の面材(MDF・モイス)と全20種類に及ぶ豊富な施工バリエーションで様々な納まりに対応します!1間や開口部分でも補強可能です。

**Q** 開発の際に**工夫**したことは?

施工に必要な面材・ビス・栈木・柱頭柱脚金物など全てキットでお届けするので、施工のバラつきを少なく、性能を担保しています。

商品・サービスに関するお問合せはこちら ※お問合せの際は「木耐協マンスリーレポートを見た」とお伝えください。

住宅の安全と快適をサポート  
**Aim Corporation**

ごまい  
担当 駒井 ☎048-224-8160 ※受付時間9:00~18:00 ※土・日・祝は休み  
mail aim@aimkk.com HP <http://www.aimkk.com/>

## 資格の花道

第18回

リフォーム提案にも活用できる資格をご紹介します!!

### 『整理収納アドバイザー』

多くの方が悩んでいる“片付け”プロとして使えるスキルを身に付ける!

整理収納のアドバイスでお客様の心をつかむ!

整理収納アドバイザーとは、片付かない原因や問題点を見つけ出し、モノとのかかわり方から見直すことで根本から問題を解決する、いわば「片付けのプロフェッショナル」です。今やテレビや雑誌等でも多く取り上げられています。整理収納の基礎を身に付けて身の回りで活用できる2級から、プロの整理収納アドバイザーとしてお客様へアドバイスがおこなえる1級までの資格があります。リフォームされるお客様へのプラスアルファの提案やイベントでのセミナー等、お客様の心をつかめる資格です。



ハウスキーピング協会理事  
吉村知恵様

必要なモノだけに囲まれて暮らせたらどれほどシンプルで心地良いことでしょう。整理収納アドバイザー講座はそのような生活を実現するために必要な知識とスキルを学ぶ講座です。どのご家庭でも活用できる片付けのメソッドです。

資格	受験資格	費用(税込)
1級 予備講座	2級受講済みの方	32,400
1次試験	2級認定者 かつ 予備講座受講者	8,640
2次試験	1次試験合格者	10,800
2級	なし	23,100

※1級は約60回/年、2級は約150回/月の予備講座を全国で開催中  
詳細は協会ホームページ参照

●管理団体 一般社団法人 ハウスキーピング協会 HP <http://housekeeping.or.jp/> ☎03-3465-3210

## News & Topics

### 『東京防災』電子書籍ストアで無料配信中 熊本地震で改めて注目

東京都が2015年9月1日より配布した防災ブック『東京防災』が、iBook Store、Kindleなどの電子書籍ストアで無料配信が開始されました。熊本の地震発生後に改めて注目されています。予めスマートフォンやタブレットなどにダウンロードしておく、災害時にはネット接続がない環境でも読むことができますので、いざと言う時のためにもぜひダウンロードしてはいかがでしょうか?



### 防災版「タウンページ」の配布が広がる

NTTタウンページと、女性ならではの防災情報を発信しているNPO法人「防災ガール」が共同で、防災関連情報を集めた冊子「防災タウンページ」を発行しています。避難所マップや持ち出し品のチェックリストなど、万が一の際にもすぐ活用できる冊子になります。平成26年から一部地域で始まった「防災タウンページ」の発行は各地域で広がり、平成28年度の発行は164版の発行を予定しています。

発行されている地域や冊子のPDFデータについては、下記のサイトでぜひ確認してみましょう。 <http://www.ntt-tp.co.jp/bousai/>





耐震診断は今までも何度か経験がありましたが、難しいイメージがあります。しかし、木耐協でこれだけのサポートシステムがあるのならもっと取り組みやすくなると思います。

小林建築  
小林 実様

当社の主な事業が防蟻であることから、床下点検を行う中で、建物全体の検査のニーズに応じております。更に最近では耐震検査のお問合せもあつたため、このたび木耐協に加盟しました。様々なサポートがあることを知り、大変心強く感じました。

株式会社テオリアハウスクリニック  
野田恒徳様

加盟研修会  
@大阪  
4/14(木)



組合に加盟したばかりですが、リフォームでは耐震診断や補強については力をいれていませんでしたので、今年度はしっかり提案をしていきたいと考えています。

株式会社おがわ  
清藤康之様

木耐協イベント  
参加者  
生の声!

木造住宅の耐震補強の重要性が叫ばれながらも、なかなか一般住宅に関しては耐震化が進まない中、エンドユーザーにどのように説明していけばいいのかが分かる講習会でした。これからの業務に活用できると思います。

有限会社 室工務店  
室 忠一様



Book

『南海トラフ地震』

今号の理事長オススメはこの一冊!



熊本地震で被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。日本列島の左半分を貫く「中央構造線」上とはいえ、その左端の熊本に直下型地震が来るとは、全く想定外で予想もしていませんでした。思い返せば5年前の東北の震災発生時、30年以内の発生確率が99%と予想されていたのに、何故もっと強くハッキリと行動を起こさなかったのかと、強く後悔した事を覚えています。この本を読みながら、たとえ微力でも今度こそ自分に出来る事をしようと思いを誓いました。

この本の冒頭の1節に『南海トラフ地震は、必ず起る。日本列島に住み、生きていくかぎり避けられない「宿命の巨大地震」である。実際に地震が起きてしまう前に、この巨大地震の全貌について、基本的な知識を持ってもらおうと執筆した』とあります。著者は名古屋

真面目に勉強して、きちんと伝えるためにも読んでおきたい一冊



45冊目

『南海トラフ地震』  
著者/山岡耕春  
発行/岩波新書  
価格/780円(税別)

大学大学院教授であり、地震予知連絡会副会長です。本の中身は、先の東北大地震の詳細に始まり、マグニチュードの解説、そして本題の南海トラフ地震発生の規模と時期、起こった場合の揺れや津波の被害想定なども詳しく書かれています。また、「富士山は噴火するのか?」の問いにも一定の答えを出しています。そして当然著者の専門分野でもある「直前予知は可能か?」の問いには、かなりのページを割いて答えています。

最終章に「専門家や国・自治体はできる限り正確な情報と知見を住民に伝えることが大事である。また、受け取る側も、その情報を正しく理解して活用する力を深めることが大事である。日本列島では地震も火山噴火も土石流も洪水もごく普通の自然の営みである。それをきちんと理解することが命を守ることに通じる」とあります。

組合員の皆様におかれましては、「私達こそ住宅の専門家である」ことを改めて自認していただき、「真面目に勉強してしっかり伝える」ことで、「一層の「事前防災」に進進して頂きたい」と存じます。

事務局通信

●編集後記●

熊本地震が発生した直後の日曜日に「基本情報技術者試験」を受験しました。自己採点の結果、合格ラインまであと1割及ばず不合格…。結果は出ませんでした。が、「受験できる」という日常の有り難さが身にしみました。秋日程でリベンジを果たせるよう今から勉強です!(伊藤)

✂ 木耐協や組合員がニュースで取り上げられました

このたびの熊本地震では甚大な被害が発生し、とくに住宅が倒壊する被害が多く見られました。事務局に様々な新聞・テレビ等の報道機関から、住宅の耐震補強に関する情報提供や取材依頼の連絡が入り、以下のニュースに取り上げられましたのでご報告いたします。

- 『みんなのニュース(フジテレビ系列)』4月21日(木)17:50のコーナー 組合員の空設計様(千葉)の補強工事を行っている住宅が取り上げられました。
- 『グッドモーニング(テレビ朝日系列)』4月25日(月)6:50のコーナー 「築20年以下でも「ゆれ疲れ」で倒壊の危機」というコーナー内で、木耐協の耐震診断調査データが取り上げられました。



空設計 平山社長(中央)

✂ 耐震技術認定者講習会 7月開催分の受付を開始しました!

7月26日(火)東京会場、7月29日(金)大阪会場の耐震技術認定者講習会の受付を開始しました。木耐協の認定資格である「耐震技術認定者」の取得を目的とした講習会で毎回多くのお申込みをいただいています。

新規に受講いただく方はもちろん、更新の方は、3年毎に受講が必要です。期限を過ぎると新規での受講となりますので、必ずご確認いただき、お早めに受講をお願いいたします。

発行 ● 国土交通大臣認可法人 日本木造住宅耐震補強事業者協同組合  
 発行人 ● 小野秀男 編集 ● 関 励介、伊藤健三、渥美寿子  
 所 在 ● 東京都千代田区麹町2-12-1 グランアックス麹町7F tel 03・6261・2040 fax 03・6261・2041

	開催日	エリア	イベント名	時間	会場	
6月	2(木)	福岡	加盟研修会	10:00~12:00	博多バスターミナル	
	2(木)	福岡	耐震診断・補強設計研修会	13:00~17:00	博多バスターミナル	
	7(火)	東京	リフォーム基本研修会	10:00~12:00	木耐協半蔵門事務所	
	7(火)	東京	加盟研修会	13:30~17:00	木耐協半蔵門事務所	
	8(水)	東京	倫理向上委員会	15:00~17:00	木耐協半蔵門事務所	
	9(木)	大阪	リフォーム基本研修会	10:00~12:00	木耐協大阪事務所	
	9(木)	大阪	加盟研修会	13:30~17:00	木耐協大阪事務所	
	16(木)	仙台	耐震技術認定者講習会	10:00~17:40	仙都会館	
	21(火)	東京	耐震診断・補強設計研修会	13:00~17:00	木耐協半蔵門事務所	
7月	23(木)	東京	理事会	13:30~17:00	木耐協半蔵門事務所	
	23(木)	大阪	耐震診断・補強設計研修会	13:00~17:00	木耐協大阪事務所	
	12(火)	埼玉	耐震事業現地研修会	10:00~17:00	木耐協埼玉研修所	
	15(金)	大阪	耐震事業現地研修会	10:00~17:00	木耐協大阪研修所	
	26(火)	東京	耐震技術認定者講習会	10:00~17:40	損保会館	
	29(金)	大阪	耐震技術認定者講習会	10:00~17:40	グランキューブ大阪	
	8月	2(火)	東京	リフォーム基本研修会	10:00~12:00	木耐協半蔵門事務所
		2(火)	東京	加盟研修会	13:30~17:00	木耐協半蔵門事務所
		8/12(金)~8/15(月) 事務局夏季休業				
	18(木)	東京	耐震診断・補強設計研修会	13:00~17:00	木耐協半蔵門事務所	
	24(水)~25(木)	山梨	宿泊技術研修会	24日13:00~25日12:00	富士Calm 人材開発センター	
	25(木)	山梨	技術向上委員会	13:30~16:30	富士Calm 人材開発センター	
	25(木)	山梨	理事会	13:30~17:00	富士Calm 人材開発センター	
	26(金)	大阪	加盟研修会	10:00~12:00	木耐協大阪事務所	
	26(金)	大阪	耐震診断・補強設計研修会	13:00~17:00	木耐協大阪事務所	

※諸般の事情により、イベントは中止となる場合がございますので、予めご了承ください。※お申込み多数の場合、やむを得ず参加をお断りする場合がございます。お早めにお申込みください。※各イベントの概要や詳細については、お気軽に木耐協事務局へお問い合わせください。

組合員さん  
~事務局長がおじゃまします~  
こんにちは!

補強効果の体感コーナー▶



▲リフォーム相談会のコーナー



▲イベント会場入口

## 近藤リフレサービス 株式会社様

(埼玉県ふじみ野市)

◀賑わう会場内

近藤リフレサービス様は2007年に木耐協へ加盟され、活動いただいております。今回は近藤グループで開催されている「KONDO春まつり」の模様をお届けします。

### イベント参加者 OB対新規 5対5

「KONDO春まつり」は毎年4月に行うイベントで、耐震実験や断熱材の実演、ピエロショーや豚汁の炊き出しなど幅広い企画で開催されています。

主な集客方法はOB顧客へのDMと訪問時のご案内。それ以外にも、地域情報紙への広告掲載やポスティングでのチラシ配布もされています。

来場者数は平均1000名で、参加者の構成はOBのお客

▲実物大の耐震補強躯体



様と新規のお客様がほぼ半分ずつ。OB様とのふれあうイベントというだけでなく、新しいお客様との出会いの場としても力をいれています。

### 耐震の展示も充実 体感コーナーが人気

「リフォーム相談コーナー」では、耐震を含めたリフォームの相談会を実施。実物大の補強躯体を展示するなど、耐震リフォームも来場者にPRされています。

小さなお子様から大人まで人気なのが、補強したこととどれだけ揺れにくくなるのか体感できるコーナーです。

「耐震に加えて、制震補強を行うことで、より安心できる住宅を提供していきたい」と、現在KONDOグループでは制震ダンパーをオプションとして積極的にご提案されています。

### 地域恒例行事となった 「春まつり」

元々の「春まつり」が始まったきっかけは、地域密着企業としてもっと地元の方とふれあいの場をつくりたいという「想い」でした。

### 企画部門からの一言

平成18年の第1回開催から、今年で11回目の開催となります。「親戚づきあい」をモットーとし、「いつでも身近な存在でありたい」という想いを込めて、この「春まつり」を企画しています。今では毎年開催を楽しみにしているお客さんも年々増え、地域の恒例行事として定着できたことが何よりの宝物です。

社員・職人が地元の方と一緒に公園を利用して始めたのがそもそものスタート。これからも長く地域の方に喜んでいただけるようなイベントを企画して、地元ふじみ野市の発展にも貢献していきたいと意気込んでおられます。

会場内の和気あいあいとした雰囲気から、地元の方から信頼されている様子を感じることができました。これからもお力になれるよう担当として頑張ります!  
(担当/  
吉谷典之)

